

中央工学校 O S A K A
学校関係者評価書
(平成27年度)

評価対象期間

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

平成28年11月 1日

中央工学校 O S A K A

学校関係者評価委員会

1. 目的

学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価（自己評価・学校関係者評価）を実施する。

実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価

卒業生・企業・業界団体等の学校関係者等を選任し、平成27年度の学校業務について、学校が自ら行った自己評価の結果について評価を行い、改善に向け専門的な助言を行う。なお、評価の観点は次の項目による。

- ・自己評価の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

3. 組織

(1) 学校関係者評価委員会

座長	小松原 学	富士教育訓練センター校長
委員	猪木 陽子	一般社団法人関西インテリアプランナー協会副会長
	堀越 保幸	日鉄住金テックスエンジ株式会社 建設事業部技術部建築設計技術グループ長
	山田 恭子	パナホーム株式会社 営業設計部営業設計企画室リーダー
	内田 利恵子	建築設計室M o r i z o ー代表
	沖 清忠	インカー・ドローイング株式会社マネージャー
	田尻 元子	株式会社ジー・プラン設計室室長
事務局	中野 吉晟	中央工学校O S A K A 校長
	平上 秀明	中央工学校O S A K A 教務部長兼建築系学科長
	中村 聖吾	中央工学校O S A K A 教務室長

(敬称略・順不同)

(2) 任期

委員任期を平成28年4月1日～平成30年3月31日(2年間)とする。

4. 実施

平成28年9月30日(金)中央工学校OSAKA 1号館45教室において、学校関係者評価委員会を開催した。

5. 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価委員会議事概要

ア. 議事の進行

中野校長の挨拶に続いて、事務局の中村教務室聴から、学校評価(自己評価・学校関係者評価)の概要について説明があり、併せて学校関係者評価シートの記入について留意事項を確認した。

イ. 自己評価書について

①学校概要の確認

事前に送付されていた自己評価書をもとに、「建学の目的」「基本的運営方針」「具体的方策(厳しい実務教育・人間涵養教育・楽しい学校生活・誇りの持てる学校)」及び学校の現状(「学生数」「教職員数」「学習概況」)について、学校が全般的に良好に運営されていること、教育内容の改善が継続的に行われていること、などを確認した。

②自己評価結果の報告と学校関係者評価シートの記入

事務局の中村教務室長から、平成27年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。()内は自己評価書の評価項目番号

- (1) 教育理念・目的・育成人材像
- (2) 学校運営
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 留学生(国際交流)

続いて、事務局の平上教務部長から、平成26年度自己評価書の下記項目について説明があり、その後、各委員による「学校関係者評価委員による評価」及び意見の記載を行った。()内は自己評価書の評価項目番号

- (3) 教育活動
 - 建築学科

- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科
- 建築 CG デザイン科
- 建築学科(夜間部)

(4) 学修成果

- 建築学科
- 住宅デザイン科
- インテリアデザイン科
- 建築 CG デザイン科
- 建築学科(夜間部)

③自己評価総括の確認

自己評価結果を踏まえた課題が確認できた。それぞれの課題について、改善に向けて努力することを確認したい。

(2) 学校関係者評価結果

学校関係者による評価の観点に照らし合わせ、以下について確認した。委員の意見を集約すると次のとおり。

ア. 自己評価の内容が適切かどうか

平成27年度の業務について自己評価書に基づき報告を受け、内容を確認した。各項目の評価（点）については、なぜ評価が上がったのか（または下がったのか）を具体的に示してほしいなどの意見もあったが、概ね妥当な結果となっており、自己評価の内容は適切と判断する。

イ. 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

評価の低い項目については概ね改善策が示されており、適切と判断する。前年度の取り組み状況と内容が変わっていない項目もあるが、今後の実施に向けて、具体的に方策を練り、実施していただきたい。

ウ. 学校の重点目標や具体的方策等が適切かどうか

学校の重点目標や具体的方策等は適切であると判断する。今後も企業との連携を一層深め、教育に反映させてほしい。

エ. 学校運営の改善に向けた実際の取り組みが適切かどうか

各項目において、問題点や課題が把握され、改善に向けた取り組みについて確認できた。適切であると判断する。

6. 項目別評価

(1) 教育理念・目標・育成人材像

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・教育理念・目的・育成人材像は定められているか。	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1
・社会のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1
・教育理念・目的・育成人材像・特色・将来構想は、業界のニーズに対応しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・教育理念が最も大切であり、特に業界では倫理に関する教育には一段と強化をしていると考えられる。杭の問題等で、より法令遵守、技術者倫理、リスクマネジメントなどマインド教育が求められる。

・将来の構想で、現場での実務教育による学生の体験がどこまで実践レベルになっているのか？単なる遠足感覚（適切な表現ではありませんが…）にとどまっていないか？

・一貫されている。

・基本方針が明確だと思う。

・学生（新入生）が前年度比23名増は素晴らしい。どのような具体的な活動が実を結んだのでしょうか？社会ニーズを踏まえて構想を持たれている結果ではないのでしょうか。おめでとうございます。

(2) 学校運営

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4	3	2	1
・学則・細則・内規等は整備されているか。	4	3	2	1
・コンプライアンス体制が整備されているか。	4	3	2	1
・教育活動に対する情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1
・情報システム化等により業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・全学科ブログは、全世代に広く好まれる内容か？学生参加型になっているか？親世代にまでアプローチすることで、子供の将来を一緒に考えていくきっかけづくりのひとつとなる。学生どおしのつながりや学生自身の社会との接点作りとなっていくべきものである。

・意見、助言を適切に取り入れられている。前年度よりも積極的に情報公開されている。

・様々な規程により運営が成されている。

(3) 教育活動

■建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・資格取得の合格率向上の為の改善の具体的な案は？ここにアンケート調査は実施しているか？内装、インテリアに関する資格取得の提案は行っているか？今後は空間全体の演出提案できる人材が要。

・学生の思いや真意について、アンケートと共にヒアリングが必要では（共通）
評価基準の平準化。

・社会人として興味を広く持ってもらう様に教育していただければ幸いです。

・教員資質向上について、忙しい中難しいかもしれませんが、実際の生の世界（建築現場）に触れる機会がある方がよいのではないかと思います。

■住宅デザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

- ・二級建築士受験範囲外とは？不明
- ・住宅設計において詳細な図面は必須。時間内で完成させるスキルも必須。より上手く見せることのできる作品づくりの効率的な手法の具体例の指導は？より実践に近い（現場ではどうやっているのか？）教員からの指導が要。
- ・カリキュラム、研修に改善工夫が見られる。
- ・資格取得も大切だが、学生の時に学べるいろいろな視点が大切だと思う。
- ・教員資質向上のための研修について、先生達が実際のモデルルームを年10回見に行く等ノルマを決めたらどうか？
- ・デザインという名のつくものに関しては時間は無限大にかかると思います。それを自宅で課題をやることや、移動中なども頭の中で考えて、完成に近づけるという実体験を学生時代に味あわせることは大事。課題を少なくすることはあまりしない方が良いでしょう。

■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・エンドユーザーとの関わり合いがかなり多くなるインテリア業界なのでマナー・礼節の強化が必須。ハードのスキルだけでは生き残れない業界である。興味関心はエンドユーザーとの触れ合いによって生まれてくる。そんな機会をつくと良いのでは？

インテリア設計士2級、最終的には1級の取得が、一般も受験できるインテリアコーディネーターとの大きな差別化を図れるので、ぜひ受験へ導くべき。

・インテリアやデザインについては、実務面でも常に新しいものが必要とされるので、その基本となる姿勢を持ってもらいたい。

・学生の興味と実務がうまくつながる課題がスキルをのばすのかなと思う。

・放課後、学生でピックアップした好きなおしゃれな話題のカフェなどに一緒に先生と行く。その内装の部材や見せ方を議論するなどすれば、放課後の有効利用、授業への興味関心アップ、先生のスキルアップもコミュニケーションもアップするのではないだろうか？

■建築CGデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・BIM対応カリキュラムの早期見直しと充実。

■建築学科（夜間部）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・各学科のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1
・カリキュラムや教育方法の工夫・開発・見直しが適切に行われているか。	4	3	2	1
・授業評価の実施体制はあるか。	4	3	2	1
・資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
・成績評価の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
・教員資質向上のための研修が行われているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・週末を利用したの実務学習はあるのか？

・教員資質向上について（研修会の内容など）もっと具体的に記載して欲しい。

(4) 学修成果

■建築学科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・退学率は少子化の問題で1人のもつ率が高く、退学率としての評価は、少し酷な状態と
感じられる。教育内容が充実しておられ、学生側の問題、意識改革（モチベーション、
楽しさを伝える）（学科共通）

・退学率のUPに、担任を中心とした相談体制は関係ないか？小さな悩みから解決を常に
できる体制づくり。

・退学理由の詳細な分析と対策（学科共通）

・退学率が高く驚いた。

・就職率、資格取得率の向上については素晴らしい。

■住宅デザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・資格取得について（一人2資格目標）、資格の幅広い案内はできているか？実際に私が取得している資格の中には第二種電気工事士があり、インテリア業界でも大いに役立っている。しかも取得したのはインテリアコーディネーターよりも先に取得した、こんな学生もいるのでは？

・就職率、資格取得率の向上は素晴らしい。

・退学率の低減は問題ですね…。先に述べた放課後茶会、ためしてみてください。のみにケーションです。

■インテリアデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・作品の質向上について、仮想ではなく、実在する場所やショップのインテリア作品はあるのか？どのようにして実務に近い学習を行っているのか？夢と現実どちらもふくませることができるスキルが欲しい。

・就職率は100%ですか？何%ですか？

■建築CGデザイン科

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

■建築学科（夜間部）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、教育の改善に活用されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・退学の理由が明確に記載されていない、把握は？

夜間だけに、課題提出の量は適切か？両立ができるカリキュラムになっているか？

・就職率は素晴らしいですね。

(5) 学生支援

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・担任とのコミュニケーションがうまくいかない学生について、セカンドの相談は充実しているか？多くの相談がまず担任を通してからとなると、学生の本心が得られにくい。

カウンセラーという専門的な立場より、もっとフランクに相談できる立場の人間は？

・支援、設備がより充実している。

・多目的な支援がいきとどいていると思う。

・保護者と懇談会などを行っているのはすごいことと思う。

・提案されているように精神的なものに関しては専門の意見が必要だと思います。

(6) 教育環境

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・施設・設備は、教育上の必要性に充分対応できるよう整備されているか。	4	3	2	1
・学内外の実習施設・インターンシップ等について充分整備されているか。	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・インターンシップに行った後の学生の変化は？インターンシップ後に進路に対して、より具体的なイメージを持っていたか？より具体的なイメージを持てなかった学生に対してのフォローはできているか？学生が将来に向けて考えていくBESTなタイミングと活かしているか？

・中長期的、年次毎に計画的に整備されている。

・防災対策は学生や地域に対しても安心を与え、良いことだと思う。

・インターンシップはとてもよい制度ですので、続けて下さい。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・職業実践専門課程について、学生に対して分かりやすい内容になっているか？伝わらな

いのであればイラストなど直感的に訴える工夫が必要か？

・具体的な工夫改善が実施されている。

・新入生が増えたことが何よりの結果だと思います。色々な活動素晴らしいです。

(8) 財務

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか。	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・25年度から上の2項目の評価が下がった理由は？生徒数は増えているが…。

・安定している評価の元数字がわからないので評価しづらい。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・個人情報管理の対策向上。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・被災地に向けての発信は、今後必ず求められる必須のスキルであり、啓発にとどまらず

具体的な活動例を早くに実施すべきでは？仮設住宅のプランや避難所生活での充実した

生活を送るアイテムの提案は？

・地域への貢献と学生のやりがいの持てるイベントを開催されていることがわかった。

・豊中市行政と何か組んでされてはいかががでしょうか？

(11) 留学生（国際交流）

評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1			
・留学生の受け入れについて戦略を持って行っているか。	4	3	2	1
・受け入れ・在籍管理等について適切な手続きがとられているか。	4	3	2	1
・留学生の学習支援について、適切な体制が整備されているか。	4	3	2	1

学校関係者評価委員による評価	適切 7名	不適切 0名
----------------	-------	--------

【自由記述】

・きめ細かい体制だと思う。

7. 総括

平成27年度における学校業務について、自己評価結果の報告に基づき、学校関係者評価を行った。評価の観点に照らして、全般的に適切な自己評価結果であると判断する。

以上